

◆ 九頭竜川水系 足羽川ブロック河川整備計画の進捗点検個票（案）

第15回九頭竜川流域懇談会で説明する点検個票

点検票No. (資料ページ)	記 載 事 項		点 検 方 法	参 考 指 標	整備計画本文との対応		
	項 目	内 容			整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
No. 01 (P4~7)	5.1 河川工事の目的、 種類及び施行の場所など	(1) 足羽川	足羽川の河川整備 ・ 福井市大瀬町地先～板垣地先までの約6,000m区間 ・ 福井市脇ヶ町地先～小宇坂島地先までの約15,900m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P20~22
No. 02 (P8~9)		(2) 荒川	荒川の河川整備 ・ 福井市東今泉町地先～永平寺町松岡吉野地先までの約5,400m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) [河川改修] ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100 整備進捗率(%) [遊水地] ＝施工済箇所数(箇所)÷計画箇所数(箇所)×100	P16~17	P23~24
No. 03 (P10~11)		(3) 一乗谷川	一乗谷川の河川整備 ・ 福井市安波賀町地先(足羽川合流点)～城戸ノ内町地先までの約900m区間 ・ 福井市西新町地先～浄教寺町地先までの約2,300m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P25~26
No. 04 (P12~13)		(4) 三万谷川	三万谷川の河川整備 ・ 福井市三万谷町地先(国道158号バイパス直上流～三万谷町地先)までの約1,200m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) ＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16~17	P27~28
No. 05 (P14~16)	5.2.2.1 洪水等による災害の 発生の防止又は軽減 に関する維持管理	(1) 河川管理施設の維持管理	① 河川管理施設の巡視 ② 足羽川の堤防強化 ③ 荒川排水機場、遊水地の点検	実施状況の確認	—	P16~17	P29
No. 06 (P17)		(2) 河道の維持管理	① 堆積土砂の除去、樹木群の伐採 ② 橋梁や樋門等の新設・改築時の占用者への指導	実施状況の確認	—	P16~17	P29
No. 07 (P18~19)		(3) 防災機能の充実	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成	実施状況の確認	—	P16~17	P29~30
No. 08 (P20)	5.2.2.2 河川の適正な利用及び 流水の正常な機能の維持 に関する維持管理	(1) 水量の管理	① 日常的な水量の把握 ② 慣行水利権の許可水利権への移行 ③ 湧水対応	実施状況の確認	—	P17	P30
		(2) 許可工作物の設置等への対応	④ 占用工作物の監督				

◆ 九頭竜川水系 足羽川ブロック河川整備計画の進捗点検個票（案）

第15回九頭竜川流域懇談会で説明する点検個票

点検票No. (資料ページ)	記 載 事 項		点 検 方 法	参 考 指 標	整備計画本文との対応		
	項 目	内 容			整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
No. 09 (P21)	5.2.2.3 河川環境の整備と 保全に関する維持管理	(1) 水質の監視	① 水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動 ② 水質事故等の発生時の対応 ③ 水質監視	実施状況の確認	—	P17	P30
No. 10 (P22~23)		(2) 河川環境の保全	① 足羽川の魚道の整備 ② 足羽川の桜並木の保全対策 ③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全）	実施状況、調査結果の確認 生物調査結果の確認	—	P17	P31
No. 11 (P24)		(3) 河川空間の適切な利用	① オープンスペースとしての高水敷部の利用状況や 河川とのふれあい・体験学習の場としての利用 ② 河川内の不法投棄を防ぐための対策	利用状況、実施状況の確認	—	P17	P31
No. 12 (P25)	5.3.1 地域住民との協働		① 住民参加による河川美化活動	実施状況の確認		P17	P32



表 4.1 足羽川ブロック内の河川

河川名	河川延長(km)	河川名	河川延長(km)
足羽川	44.870	縫原川	1.800
荒川	14.000	計石川	3.500
古川	3.000	東俣川(福井市)	2.300
一乗谷川	6.500	上味見川	7.350
鹿俣川	2.400	野津又川	3.000
大谷川	3.200	部子川	3.720
三万谷川	2.200	水海川	3.490
芦見川	8.500	魚見川	10.580
羽生川	7.180	東俣川(池田町)	2.180



図 1.2 九頭竜川水系のブロック分劃

河川整備計画 進捗点検	No.01	整備計画本文との対応（ページ）		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16	P20～22	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 足羽川		
	内容	足羽川の河川整備 (福井市大瀬町地先～板垣地先までの約6,000m区間)		
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

平成17年度～平成21年度

【指 標】

整備進捗率 (%)

$$= 6,000(\text{m}) \div 6,000(\text{m}) \times 100$$

$$= 100 \quad \%$$

a 新明里橋～水越橋

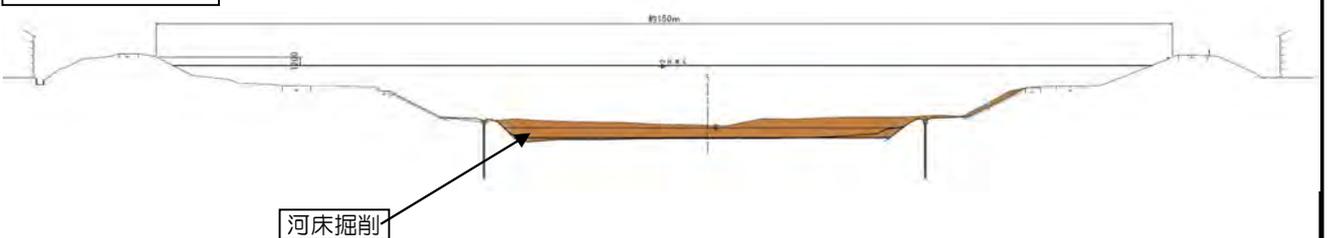


平成28年11月撮影

位置図



A-A 横断面図



河川整備計画 進捗点検		No.01	整備計画本文との対応（ページ）		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P20～22	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 足羽川			
	内容	足羽川の河川整備 (福井市大瀬町地先～板垣地先までの約6,000m区間)			
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

② 整備時の配慮事項

- 平成16年7月の福井豪雨による被災を受けたため、河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）により、河川改修工事の早期完了を図った。
- 治水工事に合わせて、みお筋やワンド、桜並木の整備等、河川環境の保全に関する工事を行った。

b 水越橋下流



c 泉橋下流 左岸堤防



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市大瀬町～板垣	H18 年度	H28 年度	H38 年度
	H21 年度		H48 年度

点検結果の考察

- 計画期間内に河川工事が完了した。

河川整備計画 進捗点検		No.01	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P20~22	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 足羽川			
	内容	足羽川の河川整備 (福井市脇三ヶ町地先~小宇坂島地先までの約15,900m区間)			
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

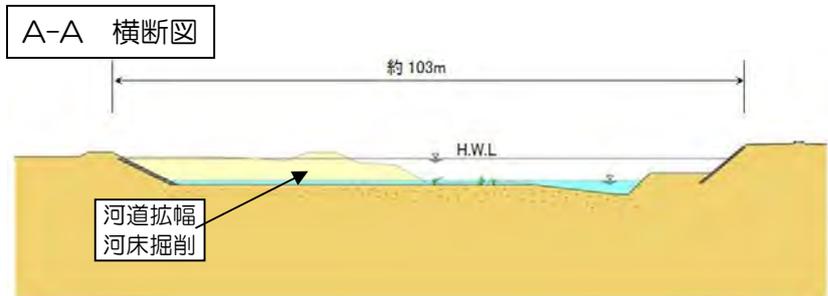
平成17年度~平成21年度

【指標】

整備進捗率 (%)

$$= 15,900(m) \div 15,900(m) \times 100$$

$$= 100 \%$$



位置図



a 福井市脇三ヶ町



平成28年11月撮影

b 福井市小宇坂町



平成28年11月撮影

河川整備計画 進捗点検		No.01	整備計画本文との対応（ページ）		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P20～22	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 足羽川			
	内容	足羽川の河川整備 (福井市脇三ヶ町地先～小宇坂島地先までの約15,900m区間)			
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

② 整備時の配慮事項

- 平成16年7月の福井豪雨による被災を受けたため、災害復旧助成事業により、河川改修工事の早期完了を図った。
- 治水工事に合わせて、被災流失したJR越美北線の鉄道橋の復旧を行った。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市脇三ヶ町 ～小宇坂島	H18 年度	H21 年度	H28 年度
		H38 年度	H48 年度

点検結果の考察

- 計画期間内に河川工事が完了した。

河川整備計画 進捗点検		No.02	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P23~24	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2) 荒川			
	内容	荒川の河川整備 (福井市東今泉町地先~永平寺町松岡吉野地先までの約5,400m区間)			
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) [河川改修] = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100 整備進捗率(%) [遊水地] = 施工済箇所数(箇所) ÷ 計画箇所数(箇所) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

昭和35年度~令和15年度

【指標】

整備進捗率(%) (暫定込み)

$$= 300(m) (850) \div 5,400(m) \times 100$$

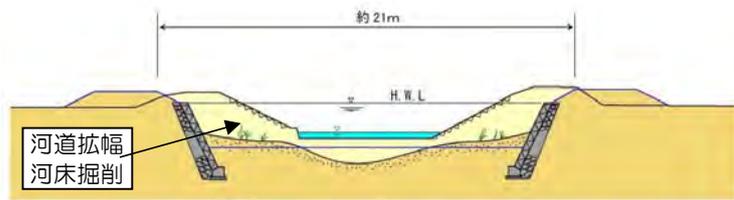
$$= 6 \% (16 \%)$$

整備進捗率(%) [遊水地]

$$= 1箇所 \div 2箇所 \times 100$$

$$= 50 \%$$

A-A 横断面図



位置図



河川整備計画 進捗点検		No.02	整備計画本文との対応（ページ）		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P23～24	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2) 荒川			
	内容	荒川の河川整備 (福井市東今泉町地先～永平寺町松岡吉野地先までの約5,400m区間)			
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) [河川改修] = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100 整備進捗率(%) [遊水地] = 施工済箇所数(箇所) ÷ 計画箇所数(箇所) × 100			

② 整備時の配慮事項

- 上流部の治水安全度を早期に向上させるため、洪水時の流水を一時的に溜める重立遊水地を整備した（治水安全度1/10の暫定整備）。
- 中部縦貫自動車道が渡河する区間については、道路整備と時期を合わせて河川改修工事を行った。
- 重立遊水地より上流部の線形不良箇所を治水安全度1/10で整備を実施中。
- 上流部の1/10整備完了後に、東今泉町～原目町の1/30整備を検討。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市東今泉町 ～永平寺町松岡吉野	—————		
	H18 年度	H28 年度	R8 年度
			R18 年度

点検結果の考察

- 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検		No.03	整備計画本文との対応（ページ）		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P25～26	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (3) 一乗谷川			
	内容	一乗谷川の河川整備 (福井市安波賀町地先(足羽川合流点)～城戸ノ内町地先までの約900m区間) (福井市西新町地先～浄教寺町地先までの約2,300m区間)			
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

② 整備時の配慮事項

- 平成16年7月の福井豪雨による被災を受けたため、上流工区については、河川等災害関連事業により、河川改修工事の早期完了を図った。
- 護岸工を自然石の乱積みとすることにより、「特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡」との調和を図った。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市安波賀町～城戸ノ内町			
福井市西新町～浄教寺町			
	H18 年度	H28 R3 年度 年度	R8 R18 年度 年度

点検結果の考察

- 計画期間内に河川工事が完了した。

河川整備計画 進捗点検	No.04	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16	P27~28	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (4) 三万谷川		
	内容	三万谷川の河川整備 (福井市三万谷町地先(国道158号バイパス直上流)~三万谷町地係までの約1,200m)		
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

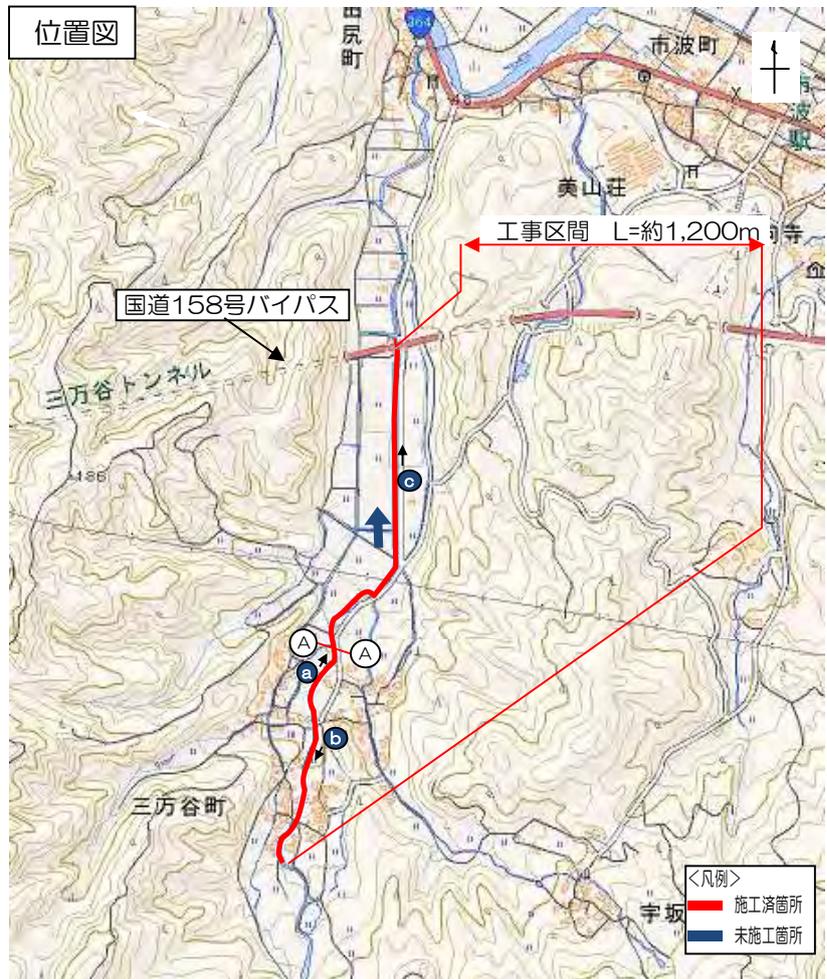
平成17年度~平成21年度

【指標】

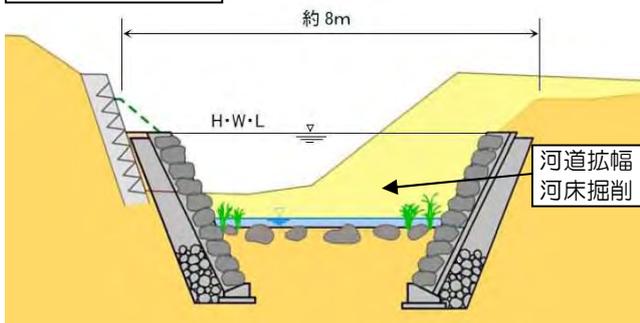
整備進捗率 (%)

$$= 1,200(m) \div 1,200(m) \times 100$$

$$= 100 \%$$



A-A 横断図



a 福井市三万谷町



河川整備計画 進捗点検		No.04	整備計画本文との対応（ページ）		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P27～28	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (4) 三万谷川			
	内容	三万谷川の河川整備 (福井市三万谷町地先(国道158号バイパス直上流)～三万谷町地係までの約1,200m)			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

② 整備時の配慮事項

- 平成16年7月の福井豪雨による被災を受けたため、河川等災害関連事業により、河川改修工事の早期完了を図った。
- 現地採取が可能な区間は、玉石で石積み護岸を施工し、周辺景観との調和を図った。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市三万谷町			
	H18 年度	H21 年度	H28 年度
			H38 年度
			H48 年度

点検結果の考察

- 計画期間内に河川工事が完了した。

河川整備計画 進捗点検		No 05	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P16~17	P29
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (1) 河川管理施設の維持管理		
	内容	① 河川管理施設の巡視状況 ② 足羽川の堤防強化 ③ 荒川排水機場、遊水地の点検		
点検方法		実施状況の確認		
参考指標		—		

① 「河川管理施設の巡視」の実施状況

- 河川巡視は、「河川管理施設の保全状況」や「河川区域での違法行為」などについて把握するため、「福井県河川パトロール実施要領」に基づき、ブロック内の管理河川（18河川、総延長129.770km）を対象に実施している。
- 巡視は、全河川において「年1回以上」実施しており、これに加えて重要水防区域や水防警報河川については「出水期前に1回、出水期間中に月1回以上」実施している。

河川管理施設の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	措置
堤防の状況	亀裂、沈下、法崩れ、漏水箇所の有無	異常があれば、写真撮影・測量し報告する
護岸の状況	亀裂、洗掘、陥没箇所の有無	
根固の状況	流失、破損箇所の有無	
構造物（取水堰等）の状況	亀裂、漏水、流失、洗掘の有無	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 草木が繁茂している場合は、除草する
河状、流水の変化	河床の異常洗掘、みお筋の変化 土砂の堆積の状態はどうか 草木等が異常に繁茂していないか	
親水施設の状況等	利用安全性 (施設の損傷、危険性の確認)	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 危険がある場合、注意喚起する

河川環境の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	措置
河川および排水の水質状況	特殊な汚濁色、油の流下、魚のへい死への対応 (油、へい死した魚の回収作業を含む)	発見した場合、写真撮影・報告する
ゴミ投棄	河川区域へのゴミ投棄、 放置車両がないか	発見した場合、写真撮影・回収する 違法投棄者がわかれば、撤去の要請をする
生態系の状況	利用安全性 (施設の損傷、危険性の確認)	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 危険がある場合、注意喚起する

足羽川（福井市西方1）

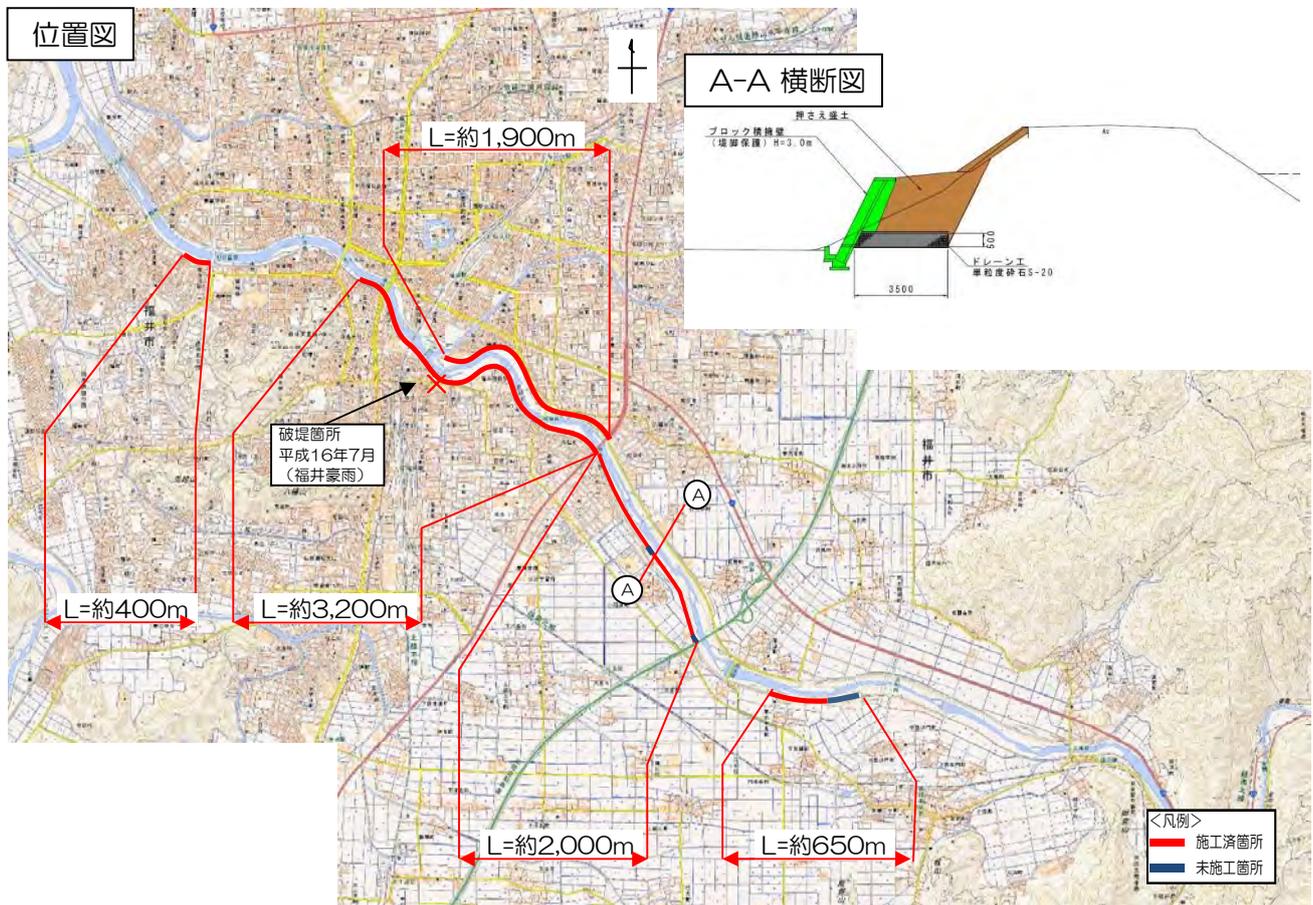


平成28年11月撮影

河川整備計画 進捗点検	No.05	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16~17	P29
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理	
	内容	(1) 河川管理施設の維持管理 ① 河川管理施設の巡視状況 ② 足羽川の堤防強化 ③ 荒川排水機場、遊水地の点検	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

② 「足羽川の堤防強化」の実施状況

- 破堤した場合に甚大な被害が想定される足羽川については、堤防の調査を行い、強化が必要な区間において、対策工事を順次実施している。



足羽川（福井市小稲津町）完了箇所の状況



河川整備計画 進捗点検		No.05	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P16~17	P29
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理		
	内容	(1) 河川管理施設の維持管理 ① 河川管理施設の巡視状況 ② 足羽川の堤防強化 ③ 荒川排水機場、遊水地の点検		
点検方法		実施状況の確認		
参考指標		—		

③ 「荒川排水機場」「遊水地の点検」の実施状況

- 荒川排水機場においては、施設の機器について「月点検」と「年点検」を実施している。機器に異常が確認された場合は、修理を行うなど、良好な状態を維持している。
- 遊水地については、河川巡視パトロールにより、流入口の状況等を確認している。

月点検項目（荒川排水機場）

名称	項目	内容
主ポンプ	計器類	零指示確認
	カップリングボルト、ゴムリング	締め具合、摩耗程度
	吐出電動弁	開閉動作確認
原動機	全体	目視点検
	潤滑油系統	油種および異常の有無、漏洩の有無
	冷却水系統	漏洩の有無
	計器類	零指示確認
減速機	全体	目視点検
	潤滑油系統	油糧、漏洩の有無
	冷却水系統	漏洩の有無
	ゲージ類	零指示確認
補機類	全体	目視点検
	エンジン潤滑油ポンプ	電流測定、電圧測定、目視確認
	減速機潤滑油ポンプ	電流測定、電圧測定、目視確認
	燃料移送ポンプ	電流測定、電圧測定、目視確認
	井戸ポンプ	電流測定、電圧測定、目視確認
	冷却水ポンプ	電流測定、電圧測定、目視確認
	地下吸気ファン	電流測定、電圧測定、目視確認
吐出ゲート	開閉動作確認、目視点検	
除塵機	除塵機、ヘルコン	電流測定、電圧測定、目視点検
自家発電機	回転数確認、電圧確認、周波数確認、目視点検	
ポンプ場内		目視巡回点検
ポンプ場外		目視巡回点検

年点検項目（荒川排水機場）

名称	項目	内容
制御系配電盤	箱体の発錆、汚損扉の状態	目視点検
	盤内照明の点検	目視点検
	盤内外の清掃	清掃
	表示灯の確認	目視確認
	指示計の指示零点	零指示確認
中央監視操作盤	操作開閉器、切替	動作確認
	開閉器押釦の動作	動作確認
	配線遮断機の状態	目視確認
中央監視操作盤	表示ランプテスト	目視確認
	シーケンサチェック	目視確認
	警告表示故障表示	目視確認
	ベルの確認	聴覚確認
	確認釦作用	動作確認
	交流指示計の指示	動作確認
	直流指示計の指示	動作確認
	電力量計の指示	動作確認
	運転時間計の指示	目視確認
	記録計の状態	目視確認
入力電圧測定	測定	
保護リレーの状態	目視確認	
絶縁抵抗	測定	

月点検
（燃料移送ポンプ）



年点検
（中央監視操作盤）



点検結果の考察

- 河川管理施設において、適切な維持管理が行われている。

河川整備計画 進捗点検		No.06	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P16~17	P29
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (2) 河道の維持管理		
	内容	① 堆積土砂の除去、樹木群の伐採 ② 橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者への指導		
点検方法		実施状況の確認		
参考指標		—		

① 「堆積土砂の除去」「樹木群の伐採」の実施状況

- ・ 河川内の堆積土砂については、河積阻害状況等を考慮し、除去している。
- ・ 樹木群の伐採にあたっては、コスト縮減のため、住民に伐採木を無償提供している。



② 「橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者への指導」の実施状況

- ・ 河川工作物については、「河川管理施設等構造令」との適合性を審査するなど、河川管理に支障が生じないように指導を行っている。
(平成28年度～令和4年度の占用許可 [新規] 橋梁9件、樋門0件、その他10件)

点検結果の考察

- ・ 河道断面を維持するため引き続き計画的に土砂の除去や伐採を行っていく。

河川整備計画 進捗点検	No.07	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16~17	P29~30
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 (3) 防災機能の充実	
	内容	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「流域内の雨量や河川水位情報の提供」の実施状況

- 足羽川ブロックにおいては、雨量観測所を12箇所、水位観測所を10箇所、危機管理型水位計を7箇所、河川カメラを9箇所設置している。

<福井県全体>

雨量観測情報（福井県：81箇所、国土交通省：27箇所、気象庁：14箇所）

水位観測情報（福井県：83箇所、国土交通省：20箇所）

河川カメラ画像（福井県：78箇所、国土交通省：3箇所、市町：1箇所）

- 雨量や河川水位等の河川情報については、「河川・砂防総合情報システム」により、地域住民にインターネットで提供している。

河川・砂防総合情報システム (<http://ame.ain.pref.fukui.jp/>)



河川整備計画 進捗点検	No.07	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16～17	P29～30
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 (3) 防災機能の充実	
	内容	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

② 「浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成」の実施状況

＜洪水浸水想定区域図・水害リスク図・洪水ハザードマップの作成＞

- 平成27年の水防法改正に伴い、現在、洪水浸水想定区域については、「想定し得る最大規模の洪水に係る区域」を指定・公表（令和元年6月4日、令和2年6月16日）。
- 水位周知河川に指定されている江端川、天王川、浅水川、鞍谷川、吉野瀬川について、洪水浸水想定区域図を作成し、インターネットで公表している。
- 洪水予報河川および水位周知河川以外の県管理河川について、「水害リスク図」として、氾濫推定図を公表（令和2年8月までで全て公表）。
- 洪水浸水想定区域図と水害リスク図を反映した関係市町の洪水ハザードマップが公表されている。

＜福井県管理河川減災対策協議会（H29.6設立）の実施＞

- 洪水の浸水想定等の水害リスク情報を共有するとともに、円滑かつ迅速な避難および的確な水防活動等を実現するため、各構成員がそれぞれまたは連携して取り組む事項をまとめた地域の取組方針を作成し、実施している取組状況を共有・確認。

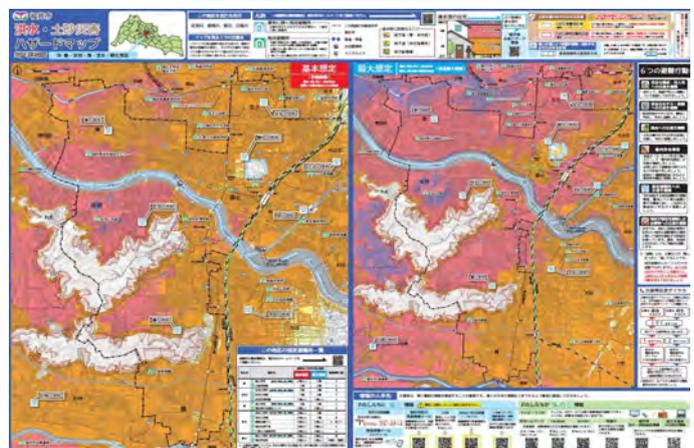
■減災のための目標

嶺北ブロックの県管理河川で発生し得る大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指し、
 (1) 円滑かつ迅速な非難
 (2) 的確な水防活動の実施
 (3) 一刻も早い復旧
 の実施を継続的に推進すべき目標とする。

洪水ハザードマップの公表状況

作成市町	公表年月	対象河川 (洪水予報河川および 水位周知河川は河川名表記)
福井市	令和3年9月	足羽川、荒川、その他中小河川
永平寺町	令和3年2月	荒川、その他中小河川

福井市洪水ハザードマップ



点検結果の考察

- 水害リスクに関する情報の提供ができています。

河川整備計画 進捗点検	No.08	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P30
記載事項	項目	5.2.2.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する維持管理 (1) 水量の管理 (2) 許可工作物の設置等への対応	
	内容	① 日常的な水量の把握 ② 慣行水利権の許可水利権への移行 ③ 渇水対応 ④ 占用工作物の監督	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「日常的な水量の把握」の実施状況

- ・ 次の水位観測所で水位を常時観測している。

水位観測所

河川名	観測所
足羽川	河内、稲荷、朝谷、天神橋、荒川水門(足羽川水位)、九十九橋
荒川	原目、河増、荒川水門(荒川水位)
魚見川	新保

② 「慣行水利権の許可水利権への移行」の実施状況

- ・ 近年、許可水利権への移行事例はないが、取水施設の改築時等に、利水者と調整し、許可水利権への移行を進める。

③ 「渇水対応」の実施状況

- ・ 令和4年7月に少雨による渇水被害が懸念されたため、「福井県渇水情報等連絡会議」を開催し、関係市町に住民への節水の呼びかけを依頼したほか、利水者に節水の呼びかけを行った。

福井新聞 (R4.6.29)



福井新聞 (R4.7.2)

ダム貯水率低下
渇水備え情報共有
県が関係連絡会議
県は1日、関係12課による
県渇水情報等連絡会議を
県庁で開いた。一部のダム
で貯水量の低下がみられ、
警戒を続けることとした。
同連絡会議の開催は20
18年以来。県が管理する
八つのダムの1日現在の貯
水率は大津呂ダム(おおい
町)が最も低く30・5%、
広野・樹谷ダム(南越前町)
が48・9%と続いた。広野
・樹谷ダムを水源とする日
野川用水土地改良区は給水
制限を既に実施している。
工業用水には現時点で影響
は出ていない。県河川課は
「一般家庭に節水を求める
基準には至っていない」と
している。(宮崎翔史)

④ 「占用工作物の監督」の指導状況

- ・ 計画策定以降、施設管理者に対して点検・修理等を指導した実績はない。

点検結果の考察

- ・ 河川が適正に利用されるよう、管理に努めている。

河川整備計画 進捗点検	No.09	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P30
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (1) 水質の監視	
	内容	① 水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動 ② 水質事故等の発生時の対応 ③ 水質監視	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動」の実施状況

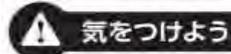
- 水質に対する住民の意識を高めるために、1年に1回（12月頃）油流出防止について、新聞等に掲載し県民に注意を呼びかけている。

気を付けよう！

★油を流出させないで！

～暖房器具への給油が増える時期です～

- 給油中にその場を離れない
- 側溝や河川などに廃油を捨てない
- 万が一、油が漏れた時は、布でふき取り、水路などへの流出を防ぐ
- 敷地外へ油が流出した場合は、速やかに土木事務所や健康福祉センター、各市町へ連絡（平成27年12月1日 福井新聞掲載）



油の流出に注意しましょう

冬場は灯油を扱う機会が増え、給油中の油漏れが起こりやすい時期です。事故を防ぐため、次のことに注意しましょう。

- 燃料機器や配管は定期的に点検する
- 給油中はその場を離れず、目を離さない
- 廃油は少量でも、側溝や河川などに捨てない
- 油が漏れたときは、布などでふき取り、水路などへの流出を防ぐ
- 敷地外に漏れた場合は、速やかに県土木事務所や健康福祉センター、市町、消防組合、警察のいずれかに連絡する
☎河川課 TEL:0776(20)0480 FAX:0776(20)0696

R4.11.15 福井県からのお知らせ

② 「水質事故等の発生時の対応」の実施状況

- 油流出は生じているが、「魚へい死」は確認されていない。
- 事故発生の際は、現地調査を実施し、原因者に被害拡大防止措置を指示している。

(単位：件)

	H30	R1	R2	R3	R4
事故件数	0	1	3	1	1
油	0	1	3	1	1
魚へい死	0	0	0	0	0

③ 「水質監視」の実施状況

- 以下の河川の箇所において、環境基準値（BOD75%値）が定められている。
- 観測値は、環境基準値の範囲内である。

水質測定地点と測定結果（平成29年度～令和3年度）（単位：mg/リットル）

	基準値 BOD75%値	H29	H30	R元	R2	R3
足羽川(天神橋)	2 (A類型)	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.6
足羽川(水越橋)	2 (B類型)	0.5	0.7	0.7	0.5未満	0.7
荒川上流(東今泉橋)	2 (A類型)	0.9	1.1	0.9	0.7	1.0
荒川下流(水門)	2 (B類型)	1.0	1.3	1.0	0.8	0.9

点検結果の考察

- 適切な水質監視を行っている。

河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	① 足羽川の魚道の整備 ② 足羽川の桜並木の保全対策	
点検方法		①魚道整備後の魚類のモニタリング調査結果の確認 ②状況の確認	
参考指標		—	

① 魚道整備後の魚類のモニタリング調査結果の確認

- 足羽川の改修により河床が下がり、荒川の河口部において河床に段差が生じたため、魚道を整備した。
- 足羽川の改修が完了したH21以降の魚類調査で、荒川（福井市間山）における魚類相は、豪雨前と比較しても大きな変化は見られない。



荒川（福井市間山）の経年変化

目名	科名	種名	豪雨前 H15-16 秋、春	改修中 H19-20 秋、春	改修後 H29-30 秋、春	備考
ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ南方種			●	県危Ⅱ
コイ	コイ	コイ	●	●	●	
		ゲンゴロウブナ			●	危ⅡB
		ギンブナ	●	●	●	
		ヤリタナゴ	●	●	●	要注目
		タイリクバラナバゴ	●	●	●	国外
		オイカワ	●	●	●	
		カワムツ	●	●	●	
		ヌマムツ	●	●	●	
		アブラハヤ	●	●	●	
		ウグイ	●	●	●	
		モツゴ		●	●	
		ピワヒガイ	●			
		タモロコ	●	●	●	
カマツカ	●	●	●			
ニゴイ	●	●	●			
ドジョウ	ドジョウ		●		要注目	
ナマズ	ナマズ	ナマズ	●	●	●	
サケ	アユ	アユ	●	●		
ダツ	メダカ	キタノメダカ	●	●	●	県危Ⅱ
カサゴ	カジカ	カジカ中卵型	●	●		県危Ⅱ
スズキ	サンフィッシュ	ブルーギル		●	●	特定
		オオクチバス	●		●	特定
	ドンコ	ドンコ	●	●	●	
	ハゼ	ウキゴリ	●		●	
		シマヨシノボリ	●	●		
		オオヨシノボリ			●	
		旧トウヨシノボリ類	●	●	●	
		ヌマチチブ		●	●	
32 目	29 科	60 種	22 種	23 種	23 種	

重要種

県危Ⅱ： 地方において特筆すべき文献等（地方版レッドデータブック）福井県 県域絶滅危Ⅱ類

要注目： 地方において特筆すべき文献等（地方版レッドデータブック）福井県 要注目

危ⅡB： 環境省NRL 絶滅危ⅡB類（EN）

外来種

特定： 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」

国外： おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物（国外外来種）

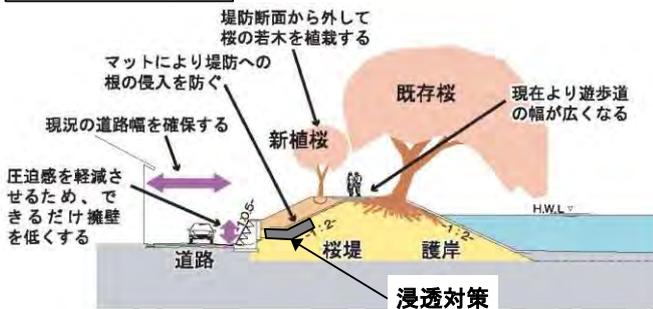


河川整備計画 進捗点検		No.10	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P17	P31	
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全			
	内容	① 足羽川の魚道の整備 ② 足羽川の桜並木の保全対策			
点検方法		①魚道整備後の魚類のモニタリング調査結果の確認 ②状況の確認			
参考指標		—			

② 足羽川の桜並木の状況

- 福井豪雨災害後に実施した堤防の地質調査結果を基に、浸透流解析を実施し、堤体の安全性に問題があるところにおいて、ドレーン工の浸透対策を実施した。
- 住宅側の桜を撤去し、堤防強化工事を行うとともに、桜の若木の植栽を行った。
- 川表側の桜は、伐採による桜並木景観の劣りを緩和させるため、枯れるまで残置することとした。
- 開花時期には観光地となっているとともに、「ふくい春まつり」の会場になり、夜間にはライトアップが行われている。

桜並木の保全対策図



工事後の桜並木（幸橋～桜橋）



平成27年4月撮影



福井市観光公式サイトより

点検結果の考察

- 既存の河川環境について、保全・再生に向けた様々な対策が実施されている。
- 魚道について、引き続きモニタリングを実施しながら順応的管理を進める。

河川整備計画 進捗点検		No.11	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P17	P31	
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (3) 河川空間の適切な利用			
	内容	① オープンスペースとしての高水敷部の利用状況や河川とのふれあい・体験学習の場としての利用 ② 河川内の不法投棄を防ぐための対策			
点検方法		利用状況、実施状況の確認			
参考指標		—			

① 「オープンスペースとしての高水敷部の利用状況や河川とのふれあい・体験学習の場としての利用」状況

- 河川敷地の占用主体は原則として公共性・公益性を有する者であるが、河川敷地を賑わいのある水辺空間として積極的に活用したいという要望の高まりを受け、平成23年度に河川敷地占用許可準則が改正され、一定の要件を満たす場合、営業活動を行う事業者等による河川敷地の利用が可能となった。
- 福井市が足羽川右岸の河川敷地を都市再生整備計画の区域に追加したことを受け、当該区域について、占用主体を「まちづくり福井㈱」、占用許可を受けることができる施設を「広場、イベント施設及びそれと一体をなす飲食店等」とする都市・地域再生等利用区域に令和2年6月1日付け指定し、令和2年6月8日付けで占用を許可した。
- 当該区域は、まちづくり福井㈱によって、「足羽川AQUAテラス」として管理され、様々なイベントが開催されている。
- 令和2年7月には、福井商工会議所・福井県・福井市が協力・連携し、「県都にぎわい創出協議会」が設立され、令和4年10月に「県都ランドデザイン」が策定。河川管理者として、足羽川周辺のにぎわい創出のため、砂利河原や階段護岸の整備、景観舗装、階段ベンチ等について、協力していく。



AQUAテラス イベント参加者数

R2年度…2, 700人 R3年度…1, 420人 R4年度…980人

② 「河川内の不法投棄を防ぐための対策」の実施状況

- 福井県河川パトロール実施要領に基づき、河川巡視を実施している。

河川環境の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	着工前調査
ゴミ投棄	河川区域へのゴミ投棄、放置車両がないか	発見した場合、写真撮影・回収する違法投棄者がわかれば、撤去の要請をする。

点検結果の考察

- 河川敷がイベント等で活用されている。
- 不法投棄を減らすための対応が講じられている。

河川整備計画 進捗点検		No.12	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P17	P32	
記載事項	項目	5.3.1 地域住民との協働			
	内容	① 住民参加による河川美化活動			
点検方法		実施状況の確認			
参考指標		—			

① 「住民参加による河川美化活動」の実施状況

- ・ 毎年、住民や企業・団体等が、河川の草刈りや清掃活動に参加している。
- ・ 住民団体等が実施する河川の草刈りを支援する補助金により河川環境づくりを推進している。

地域をつなぐ河川環境づくり推進事業（補助金）を活用した住民団体等の取組状況

	H30	R元	R2	R3	R4
参加者数（人）	1,076	1,027	855	896	1,105
草刈面積（㎡）	399,840	388,340	350,020	370,270	405,870

足羽川（清掃活動）



令和4年9月撮影

縫原川（草刈）



令和4年6月撮影

足羽川（草刈）



令和4年6月撮影

一乗谷川（草刈後）



令和4年6月撮影

点検結果の考察

- ・ 地域住民との協働による河川美化活動が定着している。